

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和56年度			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	02 起業と創造が支えるまちづくり
	小項目	施策	05 勤労福祉
事務事業名			05 働く婦人の家管理運営事業
根拠法令・例規等		男女雇用機会均等法/備前市働く婦人の家設置条例/備前市働く婦人の家設置条例規則	
問	担当課(室)	中央公民館	
合	職・氏名	館長補佐・山口晋作	
先	電話	64-1133	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内在勤在住の婦人並びに子女
目的(何のために)	男女共同参画社会を目指して女性の自発的学習を促進し、女性教育に関する情報の収集、提供を行う。
行政活動(どのような方法で)	各種講座、レクリエーションの開催
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	講座開催により、利用者の増加と新たなグループの育成

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
料理講座	人	3回開催定員90人 延34人	3回開催定員90人 延41人	開催なし	
セミナー・講座	人	2回開催定員40人 延41人	2回開催定員40人 延29人	1回開催定員20人 18人	
グループ活動実施回数	回	10グループ延334回	10グループ延365回	9グループ340回	
グループ活動実施人数	人	10グループ延3,134人	10グループ延3,319人	9グループ3,173人	
事業費	千円	133	150	117	
必要人員	人	0.25人	0.06人	0.02人	
事業費	千円	2,098	707	302	
受入	千円	17	21	0	
受入	千円				
受入	千円				
受入	千円				
受入	千円	2,081	686	302	
受益者負担比率	%	0.8%	3.0%		

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①				
結果指標量	人	34	41	
対前年比	%	-	120.6%	0.0%
活動コスト	円	38,556	43,566	
単位当たりコスト	円	1,134	1,063	
結果指標②				
結果指標量	人	41	29	18
対前年比	%	-	70.7%	62.1%
活動コスト	円	32,750		
単位当たりコスト	円	799	0	0

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
講座参加率	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	58	54	90	到達目標年度
	達成率(B/A)	58.0%	54.0%	90.0%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
参加人数/講座募集定員 この事業の目的である女性教育に関する情報の収集、提供の成果に則しているため、講座の参加率を成果指標とした。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	判定理由・課題認識
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識
市民参画度			判定理由・課題認識

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	0	結果指標量②	20	成果指標量	100
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	グループ活動については、例年通り行われていて、講座の内容については検討中					

総合評価		評価区分<A~E>
講座は、21世紀財団による再就職セミナーを開催した。参加募集定員20人に対し、18人の参加となったが、定員に達せずPRの方法準備など改善の余地があった。		C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	働く婦人の家の設置当時と比較し、社会情勢も大きく変化中、この事業そのものの意義が薄れてきており事業を縮小ことが妥当である。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		